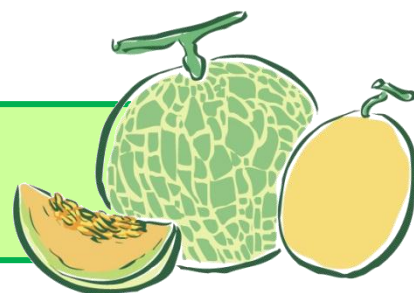


# メロンの輸出



- 北海道からの輸出が年々増加中！
- 2014 年、初めて全国シェア 1 位を獲得！

日本各地にはそれぞれ特産の果物・野菜があり、1 年を通して旬を味わえますが、北海道や東北では厳冬期があり農耕期が他県に比べ短いのです。しかし、国内外に広く認知されているものが数多く、ブランド化されているものもあります。

毎年、初セリの落札価格が大々的にニュースになる果物、そう、「メロン」です。

北海道のメロンはここ数年で輸销量・額ともに飛躍的に増加しており、2014 年にはとうとう全国シェア 1 位に！

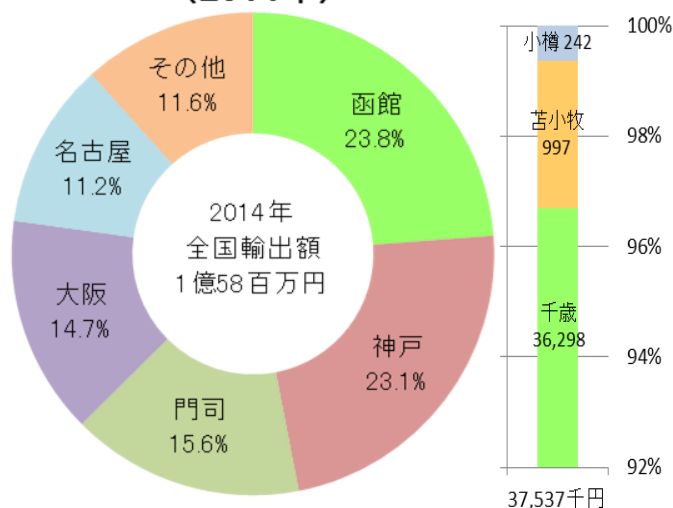
そこで今回はその「メロン」に焦点を当てたいと思います。

メロンの輸出額シェア  
(2014年)

【税関・管内官署別輸出額シェア】

2014 年の全国輸出額は 1 億 58 百万円でありましたが、うち 23.8%にあたる 38 百万円が函館税関管内から輸出されています。

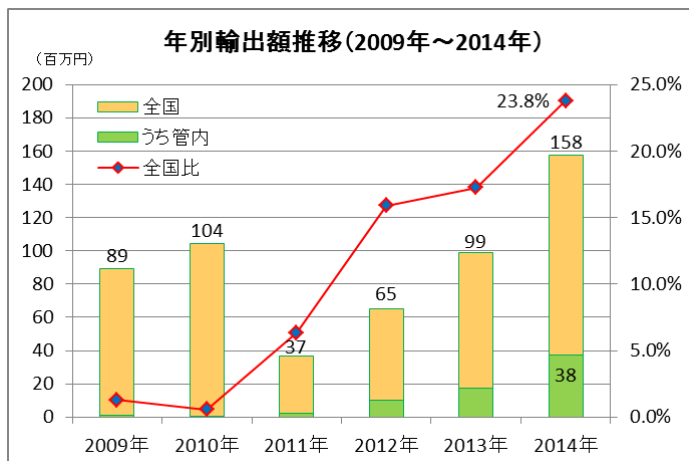
当関管内では全て北海道から輸出されており、新千歳空港が 36 百万円（全国比 23.0%、管内比 96.7%）と全国・管内ともにシェア 1 位を記録。次いで苫小牧港が 1 百万円（同 0.6%、同 2.7%）となっております。



【年別輸出額推移】

年別推移を見ると、全国的に 2011 年に激減したものの、その後年々右肩上がり輸出額が回復しており、2014 年には、現行の輸出統計品目番号となった 1996 年以降過去最高となっております。

当関にあっては、以前は単年で実績があったものの、継続して輸出するようになった 2009 年以降過去最高となっております。



※ 本特集における「メロン」については、輸出統計品目表の 0807.19-000 (メロン (すいかを含む。)--その他のもの) を集計しております。

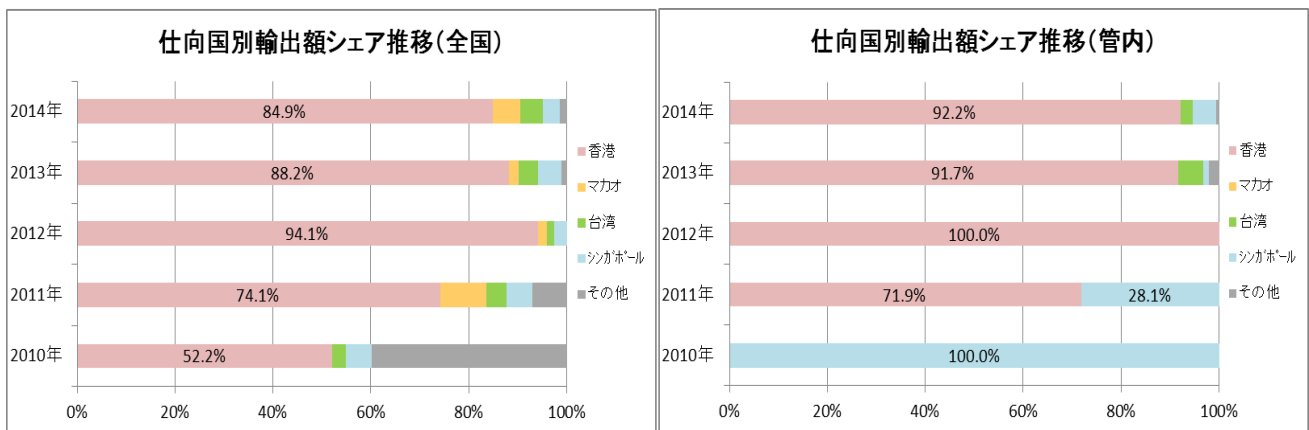
### 【仕向国別輸出額シェア推移】

仕向国別に見てみると、全国・函館税関ともに香港向けが3年連続80%以上と圧倒的なシェアを誇っており、全国では次いでマカオ・台湾・シンガポール、当関ではシンガポール・台湾と続き、全国・函館税関ともにアジア圏向けが95%以上を占めています。

これは、一般的にメロンの成熟速度が収穫から2週間程度と速く、海上コンテナのように長期間の輸送には弱い側面を持っていることが一因と言えるようです。

しかし、そのような青果物特有の弱点を補完するべく、CA（鮮度維持輸送用）コンテナによる貯蔵試験が行われる等様々な試行錯誤をされているようですので、近い将来「高い鮮度の日本産青果物が世界に大量輸出！」といった“実”を結ぶ日が来るかもしれませんね、果実だけに…。

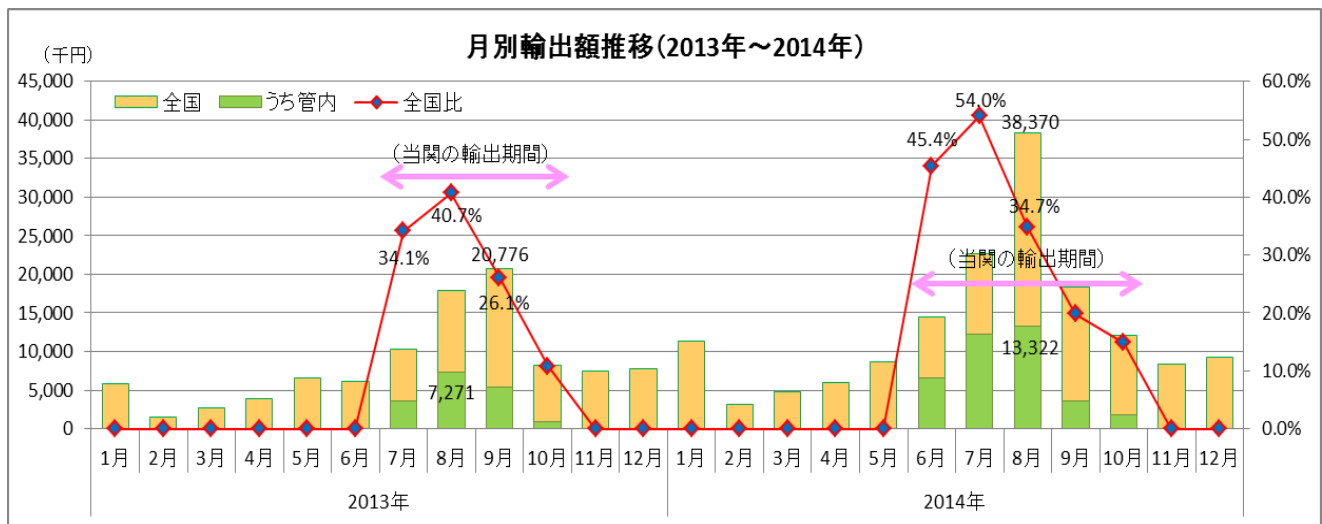
ちなみに当関からは、当関の主力貿易相手国であるロシア向けにも、ごく僅かではありますが輸出されています。



### 【月別輸出額推移】

直近2年の輸出実績を月別に見ると、全国的には1年を通して輸出されていますが、当関の実績としては例年6月頃～10月頃までの4～5ヶ月しか輸出できません。

雪や寒さ厳しい北海道という土地柄、生産期間が限られてしまうことに起因しているようですが、それでも全国シェア1位を獲得できるほどの輸出実績があるのですから、「北海道産メロン」さすがの一言です。



～ あとがき ～

今回取材させていただいた先から、今後の方針や見通しについて伺いました。

- 北海道からの輸出の見通しとしては、従来品種に加え、2014年に初めて輸出されたものがあり、初年ではあったが一定の評価を得ており、今年も継続される見通しであることから、輸出量・額的には増加傾向にあると考えている。
- 海外に店舗を展開し物流ネットワークを構築している企業や各種メディアと手を組み、産地からの情報発信と現地での販売力を活かした仕向国での消費拡大を図りたいほか、仕向国内におけるサプライチェーン（輸入後の鮮度保持に適した施設や流通体制）の構築にも注力していく。
- 外国人旅行客が手にする土産品には「鮮度」「味」を伝える力があるので、帰国後実際に消費され、その中で良い評価が得られれば、今後の販路拡大にも繋がるのではないかと。

函館税関管内からの輸出の歴史はまだ浅いですが、全国各地からは長年に亘り輸出されているメロン。中国、トルコやエジプト等世界各国でも生産されており、品種も豊富で、生食のみならず菓子類や漬物、煮物になる等様々な加工品があることも知られています。また、主要生産国の一つである米国では、日本のように贈答用的な感覚は少なく、庶民的な果実として広く流通しているようです。

北海道のメロンは今が旬。皆様も一度召し上がってみてはいかがでしょうか？

#### 《一口メモ》

##### 【品種と名称 ～夕張メロンはどっち？～】

北海道夕張市を産地とする高級メロンで、赤肉種のネットメロン（マスクメロン）である「夕張メロン」。国内外に広く知れ渡っているこの名前、実はJA夕張の「登録商標」であることを御存知でしたか？

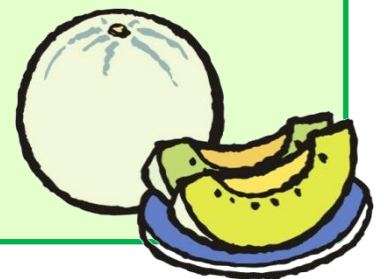
品種名は「夕張キングメロン」。交配種として誕生するも日持ちに難があり、誕生から約20年で産地直送システムの発達により、ようやく全国出荷が可能となったようです。

ちなみに、2011年（平成23年）には誕生から50周年を迎えました。

##### 【作付面積と収穫・出荷量】（2013年農林水産省作物統計：都道府県ベース）

都道府県別のメロン作付面積に意外な事実を発見しました。広大な作付面積を誇ると思われた北海道、実は1位ではなかったのです。

その1位は茨城県、2位が北海道、次いで熊本県、山形県、青森県となっており、上位5道県で全国作付面積の約65%、収穫・出荷量では約70%を占めています。



※取材協力：北海道農政事務所、北海道経済産業局

##### 【本資料に関する問い合わせ】

函館税関 調査部 調査統計課 TEL：0138-40-4281（直通）

〒040-8561 北海道函館市海岸町24-4 函館港湾合同庁舎3階

※本資料を引用する際は、必ず「函館税関の資料による」旨注記願います。

## 1. 輸出額シェア(2014年)

## (1)税関別

税関	輸出額 (千円)	全国比
東京	14,359	9.1%
横浜	3,558	2.3%
神戸	36,500	23.1%
大阪	23,106	14.7%
名古屋	17,587	11.2%
門司	24,593	15.6%
長崎	—	—
函館	37,537	23.8%
沖縄	460	0.3%
総額	157,700	100.0%

## (2)官署別

税関	輸出額 (千円)	前年比	全国比
東京	5,380	2.3倍	3.4%
羽田	8,080	15.1倍	5.1%
成田	899	22.8%	0.6%
横浜	1,444	全増	0.9%
川崎	2,114	172.4%	1.3%
神戸	32,845	120.4%	20.8%
尼崎	3,655	29.7%	2.3%
大阪	1,310	74.4%	0.8%
関西空港	21,796	5.6倍	13.8%
名古屋	17,049	148.5%	10.8%
中部空港	225	全増	0.1%
静岡空港	313	全増	0.2%
門司	—	全減	—
博多	7,890	88.8%	5.0%
福岡空港	16,703	2.1倍	10.6%
苫小牧	997	4.6倍	0.6%
小樽	242	全増	0.2%
稚内	—	全減	—
千歳	36,298	2.3倍	23.0%
石狩	—	全減	—
那覇空港	460	178.3%	0.3%
総額	157,700	159.9%	—

## 2. 年別輸出額推移(2009年~2014年)

年	全国分		うち函館税関		
	輸出額 (千円)	前年比	輸出額 (千円)	前年比	全国比
2009年	89,073	63.0%	1,144	全増	1.3%
2010年	104,449	117.3%	575	50.3%	0.6%
2011年	36,817	35.2%	2,338	4.1倍	6.4%
2012年	65,367	177.5%	10,391	4.4倍	15.9%
2013年	99,225	151.8%	17,127	164.8%	17.3%
2014年	157,700	158.9%	37,537	2.2倍	23.8%

## 3. 月別輸出額推移(2013-2014)

年 月	全国分		うち函館税関			
	輸出額 (千円)	前年比	輸出額 (千円)	前年比	全国比	
2013年	1月	5,849	119.2%	—	—	
	2月	1,573	131.0%	—	—	
	3月	2,671	84.9%	—	—	
	4月	3,836	3.1倍	—	—	
	5月	6,612	166.3%	—	—	
	6月	6,154	2.2倍	—	全減	
	7月	10,370	164.4%	3,541	107.2%	34.1%
	8月	17,872	2.0倍	7,271	173.1%	40.7%
	9月	20,776	108.7%	5,430	2.6倍	26.1%
	10月	8,229	2.9倍	885	全増	10.8%
	11月	7,524	133.2%	—	—	—
	12月	7,759	142.3%	—	—	—
2014年	1月	11,328	193.7%	—	—	
	2月	3,195	2.0倍	—	—	
	3月	4,852	181.7%	—	—	
	4月	6,001	156.4%	—	—	
	5月	8,686	131.4%	—	—	
	6月	14,401	2.3倍	6,535	全増	45.4%
	7月	22,668	2.2倍	12,239	3.5倍	54.0%
	8月	38,370	2.1倍	13,322	183.2%	34.7%
	9月	18,314	88.1%	3,643	67.1%	19.9%
	10月	12,124	147.3%	1,798	2.0倍	14.8%
	11月	8,431	112.1%	—	—	—
	12月	9,330	120.2%	—	—	—

## 4. 仕向国別シェア推移(2010-2014)

## (1)全国分

※2014年実績を基準としてソートしています。

仕向国名	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比
輸出総額	104,449	100.0%	36,817	100.0%	65,367	100.0%	99,225	100.0%	157,700	100.0%
香港	54,484	52.2%	27,282	74.1%	61,519	94.1%	87,503	88.2%	133,843	84.9%
マカオ	—	—	3,482	9.5%	1,146	1.8%	2,022	2.0%	8,771	5.6%
台湾	2,856	2.7%	1,534	4.2%	993	1.5%	3,906	3.9%	7,345	4.7%
シンガポール	5,432	5.2%	1,917	5.2%	1,709	2.6%	4,678	4.7%	5,525	3.5%
マレーシア	—	—	—	—	—	—	519	0.5%	1,444	0.9%
アラブ首長国連邦	8,167	7.8%	1,965	5.3%	—	—	—	—	530	0.3%
ロシア	—	—	—	—	—	—	348	0.4%	242	0.2%
大韓民国	2,910	2.8%	365	1.0%	—	—	—	—	—	—
タイ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フィリピン	—	—	—	—	—	—	249	0.3%	—	—
カタール	—	—	272	0.7%	—	—	—	—	—	—
オマーン	30,600	29.3%	—	—	—	—	—	—	—	—

## (2)函館税関分

※2014年実績を基準としてソートしています。

仕向国名	2010年		2011年		2012年		2013年		2014年	
	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比	金額 (千円)	構成比
輸出総額	575	100.0%	2,338	100.0%	10,391	100.0%	17,127	100.0%	37,537	100.0%
香港	—	—	1,680	71.9%	10,391	100.0%	15,697	91.7%	34,591	92.2%
シンガポール	575	100.0%	658	28.1%	—	—	218	1.3%	1,784	4.8%
台湾	—	—	—	—	—	—	864	5.0%	920	2.5%
ロシア	—	—	—	—	—	—	348	2.0%	242	0.6%